

楽座組み立てガイド

部材の確認

施工手順書と部材リストを参考にして行程ごとの部品を分別します。

- 部品は柱、仕切板、上下枠、框付き上枠、引出、引き出しレール付き仕切板、引出用框(型番にHがつく部材)、蓋、畳に分けられます。そのうち柱、仕切板、上下枠は塗装品と無塗装品に分けられます。



角の柱(二方柱)とその間の柱(三方柱)を事前に揃えておけば手間が省けます

モデルはTCI-EN3H3

- ①未塗装柱、下枠
- ②塗装柱、下枠
- ③仕切り板
(塗装、無塗装、引出用)
- ④框セット
- ⑤蓋、畳、引出

仮組みと位置あわせ



- 大まかな設置場所を捉えるために施工手順書と部材リストを照合しながら、仮組みを行います。
- タイプによって、もしくは設置場所によってこの行程は異なってきます。引出の出る位置の見当もここで行ってください。

柱、下枠の組み込み



- 下枠を組む場合、内側の無塗装材、骨組みの、見えない部分から組み立てると簡単になります。



- 外側になる化粧材の下枠を周囲から順に組んでいけば外枠は完成です。
- 柱の組み立ては十字(内側)→T字(外側)→L字(隅)と、はめ込み箇所が多い順に組んでいくやり方がオススメです。

ゆっくりと叩きます
激しく叩くと
破損の原因になります



仕切板のはめ込み



- 仕切板を柱の溝に沿って水平に差し込みます。差し込みが堅い場合付属のゴムハンマーを使います。
- 仕切板が奥まで差し込めたかどうか確認してください。しっかり差し込めてない場合は押したときに緩みがあります。



引出用仕切板は施工図面で位置を確認



- レールが手前下にあるように設置します。
- 型番記載の記号は正面から見て左がL、右がRになります。

内側仕切板のはめ込み



- 無塗装の内仕切板を差し込みます。
- 外側仕切板のはめ込みと同様に緩んでないかを必ず確認してください。

框＋上枠のはめ込み



- 内部の上枠の取り付け、外周の上枠、框の取り付けを行います。
- 引出用框は大きさが若干異なります。手順書にある部品番号と併せて確認してください。部品番号にHが含まれる框は引出用になります。

蓋、引き出しの取り付け



- 正面から引出の差し込みを行います。引出の動作の確認を行ってください。
- 上蓋の取り付けが終われば、後は畳を上のにせるだけで完成です。上蓋は重量がありますので指を挟まないように注意してください。

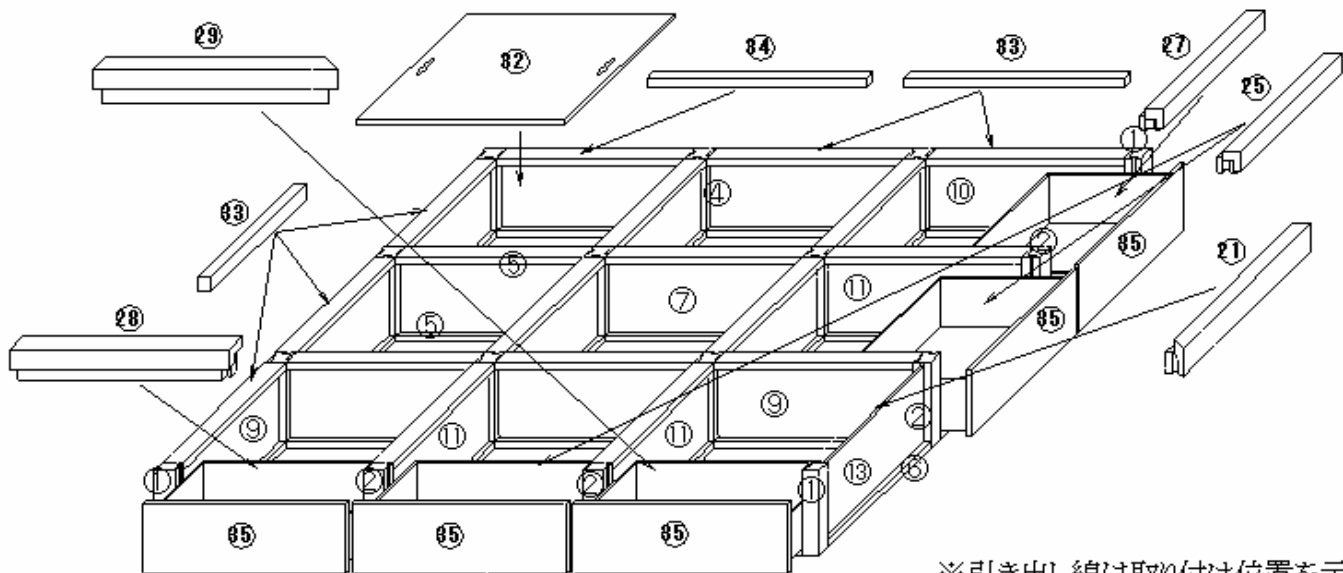
畳を入れて完成



- 全体に歪み、緩みがないか確認を行い、畳を蓋の上に乗せてください。
- 畳が動く場合は置き畳に付属している滑り止めシールを使用してください。
- 以上で設置作業は終了です。

楽座部材リスト(TCL-□N4H5)

プランL-4



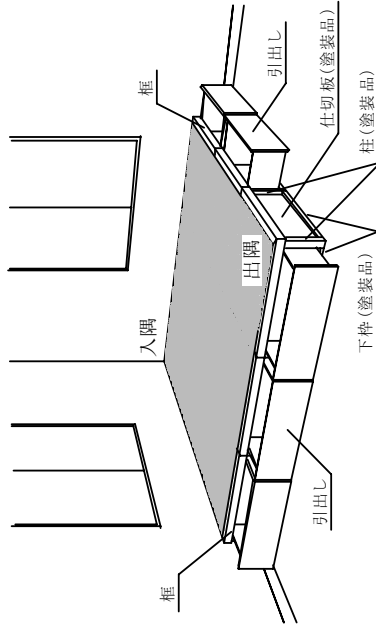
※引き出し線は取り付け位置を示す

符号	品番	部材名	サイズ	数量	備考
①	TH□-2	柱 □	340x50x50	3	塗装品(外部2方接続用)
②	TH□-3	柱 □	340x50x50	4	塗装品(外部3方接続用)
③	TH□-4	柱 □	340x50x50		塗装品(外部4方接続用)
④	TH-4	柱 □	340x50x50	9	内部全方接続用
⑤	USK-1	上下枠 ≡≡≡ ≡	800x50x30	36	内部用
⑥	SK□-1	下枠 ≡≡≡ ≡	800x50x30	6	塗装品(外部用)
⑦	NJ-1	仕切板 ≡	290x810x9	12	
⑧	NJ□-1	仕切板 ≡	290x810x9		塗装品
⑨	NJ-2L	仕切板 ≡	290x810x9	2	引出用レール1本付き(左用)
⑩	NJ-2R	仕切板 ≡	290x810x9	1	引出用レール1本付き(右用)
⑪	NJ-2W	仕切板 ≡	290x810x9	3	引出用レール2本付き
⑫	NJ□-2L	仕切板 ≡	290x810x9		塗装品,引出用レール1本付き(左用)
⑬	NJ□-2R	仕切板 ≡	290x810x9	1	塗装品,引出用レール1本付き(右用)
⑭	MK□-850	框 ≡ ≡ ≡ ≡	850x50x60		塗装品,上枠付
⑮	MK□-850IR	框 ≡ ≡ ≡ ≡	850x50x60		塗装品,上枠付(右側が入り隅)
⑯	MK□-850IL	框 ≡ ≡ ≡ ≡	850x50x60		塗装品,上枠付(左側が入り隅)
⑰	MK□-850I2	框 ≡ ≡ ≡ ≡	850x50x60		塗装品,上枠付(両側が入り隅)
⑱	MK□-875R	框 ≡ ≡ ≡ ≡	875x50x60		塗装品,上枠付(右側が壁面)
⑲	MK□-875L	框 ≡ ≡ ≡ ≡	875x50x60		塗装品,上枠付(左側が壁面)
⑳	MK□-900R	框 ≡ ≡ ≡ ≡	900x50x60		塗装品,上枠付(右側が出隅)
㉑	MK□-900L	框 ≡ ≡ ≡ ≡	900x50x60	1	塗装品,上枠付(左側が出隅)
㉒	MK□-950D2	框 ≡ ≡ ≡ ≡	950x50x60		塗装品,上枠付(両側が出隅)
㉓	MK□-900IDR	框 ≡ ≡ ≡ ≡	900x50x60		塗装品,上枠付(左側が出隅右側入隅)
㉔	MK□-900IDL	框 ≡ ≡ ≡ ≡	900x50x60		塗装品,上枠付(右側が出隅左側入隅)
㉕	MKH□-850	框 ≡ ≡ ≡ ≡	850x50x60	2	塗装品,上枠付引き出し用
㉖	MKH□-850I2	框 ≡ ≡ ≡ ≡	850x50x60		塗装品,上枠付(両側が入り隅)
㉗	MKH□-875R	框 ≡ ≡ ≡ ≡	875x50x60	1	塗装品,上枠付引出用(右側が壁面)
㉘	MKH□-875L	框 ≡ ≡ ≡ ≡	875x50x60	1	塗装品,上枠付引出用(左側が壁面)
㉙	MKH□-900R	框 ≡ ≡ ≡ ≡	900x50x60	1	塗装品,上枠付引出用(右側が出隅)
㉚	MKH□-900L	框 ≡ ≡ ≡ ≡	900x50x60		塗装品,上枠付引出用(左側が出隅)
㉛	MKH□-950D2	框 ≡ ≡ ≡ ≡	950x50x60		塗装品,上枠付引出用(両側が出隅)
㉜	NB-1	中蓋 ≡≡≡	845x845x15	9	
㉝	TM□-1	畳見切 □	850x25x30	5	両面テープ付
㉞	TM□-2	畳見切 □	875x25x30	1	両面テープ付
㉟	HT-□	引き出しセット		5	塗装品(前板サイズ:840x275xt20)

楽座施工手順書

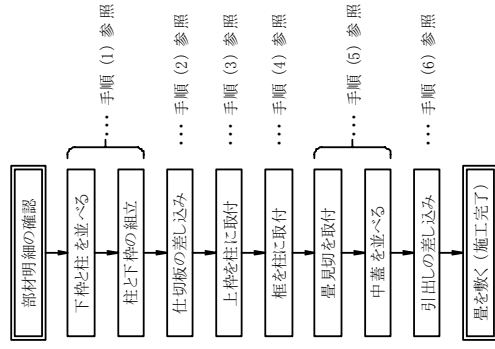
①. 部材の確認

- 梱包された部材の明細を『楽座部材リスト』によりモレがないことを確認してください。
- 塗装部材の使い分けについて
- 同じ種類の部材に塗装品と無塗装品があります
※、柱、下枠、仕切板が該当します。



③. 組立の手順

- 以下の手順で、右の説明を参考に組立を行います。



手順 (1). 下枠、柱の仮並べ と 柱と下枠の組立

- 別紙の『楽座部材リスト』を参照して、壁に面する入隅部分より下枠・上下枠⑤USK-1と柱を仮並べしてください。
- 下枠(無塗装品) ⑤USK-1 柱(塗装品) ①TH口-2
- 上下枠(塗装品) ①TH口-2 柱(塗装品) ②TH口-3
- 下枠(塗装品) ⑥SK口-1 柱(塗装品) ①TH口-3
- 上下枠(塗装品) ①TH口-2 柱(塗装品) ⑥SK口-1
- 表側に見える部分は塗装品を使用します(着色部分)
- 柱の凹溝に下枠の凸ホゾを差し込みます
※、差し込みが固い場合、ゴムハンマーを使います
- この要領ですべての下枠と柱を組立します
※、着色部は塗装品

手順 (4). 框の取付

- 引出し差し込み口と塗装品の仕切板(⑧NJ口-1、⑩NJ口-2R、2L)の上面に框の凸ホゾを柱の凹溝に差し込みます。
- ※ 取付位置は『楽座部材リスト』を参照してください。
- ※、差し込みが固い場合、ゴムハンマーを使います
- ※、MKH口-850、MKH口-875L、MKH口-875R、MKH口-850、MKH口-900L、MKH口-900R
- ※、MKH口-850、MKH口-875L(左側が壁面)、MKH口-875R(右側が壁面)、MKH口-900L(左側が壁面)、MKH口-900R(右側が壁面)
- ※、引出しに使用 ④MKH口-900R(右側が壁面)、⑤MKH口-900L(左側が壁面)
- ※、引出しに使用 ④MKH口-900R(右側が壁面)、⑤MKH口-900L(左側が壁面)
- ※、引出しに使用 ④MKH口-900R(右側が壁面)、⑤MKH口-900L(左側が壁面)
- ※、引出しに使用 ④MKH口-900R(右側が壁面)、⑤MKH口-900L(左側が壁面)

手順 (2). 仕切板の差し込み

- 隠れる部分は無塗装品の仕切板(⑦NJ口-1)、表側に見える部分は塗装品の仕切板(⑧NJ口-1)を柱の凹溝に上から差し込みます。※ 引出しの差し込み口には不要です
- 仕切板(無塗装品) ⑦NJ口-1(塗装品) ⑧NJ口-1(塗装品)
- 引出し差し込み口の左右には、レール付き仕切板を使用します。 ⑨NJ-2L ⑩NJ-2R (塗装品)
- 仕切板(レール付) ⑨NJ-2L 仕切板(レール付) ⑩NJ-2R
- 仕切板(無塗装品) ⑦NJ口-1 仕切板(レール付) ⑩NJ-2R
- 仕切板(レール付) ⑩NJ-2L 仕切板(レール付) ⑩NJ-2R
- 仕切板(レール付) ⑩NJ-2L 仕切板(レール付) ⑩NJ-2R
- 仕切板(レール付) ⑩NJ-2L 仕切板(レール付) ⑩NJ-2R

手順 (5). 畳見切の貼付、中蓋を並べる

- 壁際には畳見切を取付します
- 畳見切は両面テープをはがして貼付してください
- 取付の際には壁際に合せて貼付します
- ※、畳見切は、一方の⑩TM口-2を壁面まで伸ばしその側面に⑩TM口-1を突合せて貼付します。
- ※、入隅部、⑩TM口-1、⑩TM口-2
- ※、畳見切に揃えて柱、上枠の上に中蓋を並べます
- 畳見切 ⑩TM口-1 畳見切 ⑩TM口-2 中蓋 ⑩NB-1
- 畳見切 ⑩TM口-1 畳見切 ⑩TM口-2 中蓋 ⑩NB-1
- 畳見切 ⑩TM口-1 畳見切 ⑩TM口-2 中蓋 ⑩NB-1

手順 (3). 上枠の取付

- 無塗装品の仕切板(⑦NJ口-1)を差し込みし上に、上枠(上下枠⑤USK-1)の凸ホゾを柱の凹溝に差し込みます。
- ※、差し込みが固い場合、ゴムハンマーを使います。
- 塗装品の仕切板の上には 框材を取付しますので、上枠の取付は不要です。
- 上枠(無塗装品) ⑤USK-1 上枠(無塗装品) ⑤USK-1
- 引出し差し込み口 ※ 上枠不要
- 引出し差し込み口 ※ 上枠不要
- 引出し差し込み口 ※ 上枠不要
- 引出し差し込み口 ※ 上枠不要

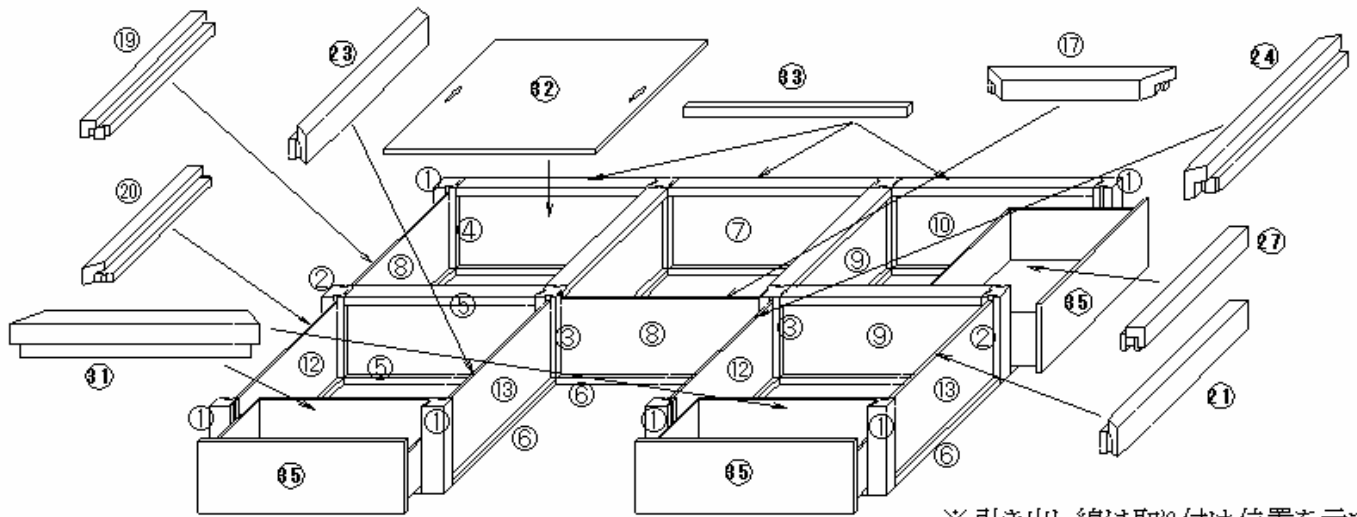
手順 (6). 引出しの差し込み

- 引出し差し込み口に引出しを差し込みます。
- 引出し ⑩HT口
- ※、内部の仕切板のレールに載せ、スライドさせます
- ※、中蓋の上に畳を敷きます(これで完成です)
- 引出し ⑩HT口
- 引出し ⑩HT口
- 引出し ⑩HT口

組立等でご不明な点は、平日午前9時～12時、午後1時～5時にお問い合せください。

楽座部材リスト(TCUU232-□N2H3)

プランH-1



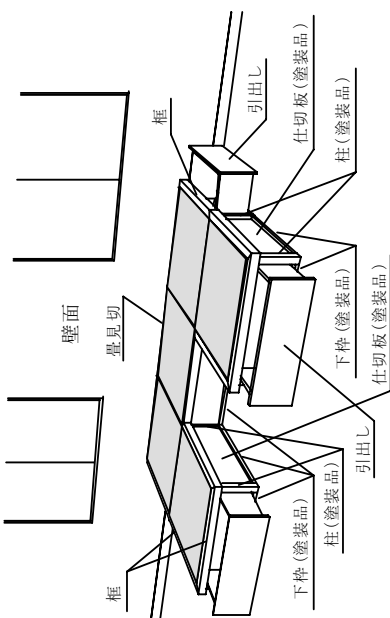
※引き出し線は取り付け位置を示す

符号	品番	部材名	サイズ	数量	備考
①	TH□-2	柱 □	340x50x50	6	塗装品(外部2方接続用)
②	TH□-3	柱 □	340x50x50	2	塗装品(外部3方接続用)
③	TH□-4	柱 □	340x50x50	2	塗装品(外部4方接続用)
④	TH-4	柱 □	340x50x50	2	内部全方接続用
⑤	USK-1	上下枠 ≡≡≡	800x50x30	14	内部用
⑥	SK□-1	下枠 ≡≡≡	800x50x30	9	塗装品(外部用)
⑦	NJ-1	仕切板 ≡	290x810x9	5	
⑧	NJ□-1	仕切板 ≡	290x810x9	2	塗装品
⑨	NJ-2L	仕切板 ≡	290x810x9	1	引出用レール1本付き(左用)
⑩	NJ-2R	仕切板 ≡	290x810x9	1	引出用レール1本付き(右用)
⑪	NJ-2W	仕切板 ≡	290x810x9		引出用レール2本付き
⑫	NJ□-2L	仕切板 ≡	290x810x9	2	塗装品,引出用レール1本付き(左用)
⑬	NJ□-2R	仕切板 ≡	290x810x9	2	塗装品,引出用レール1本付き(右用)
⑭	MK□-850	枠 ≡≡≡	850x50x60		塗装品,上枠付
⑮	MK□-850IR	枠 ≡≡≡	850x50x60		塗装品,上枠付(右側が入り隅)
⑯	MK□-850IL	枠 ≡≡≡	850x50x60		塗装品,上枠付(左側が入り隅)
⑰	MK□-850I2	枠 ≡≡≡	850x50x60	1	塗装品,上枠付(両側が入り隅)
⑱	MK□-875R	枠 ≡≡≡	875x50x60		塗装品,上枠付(右側が壁面)
⑲	MK□-875L	枠 ≡≡≡	875x50x60	1	塗装品,上枠付(左側が壁面)
㉑	MK□-900R	枠 ≡≡≡	900x50x60	1	塗装品,上枠付(右側が出隅)
㉒	MK□-900L	枠 ≡≡≡	900x50x60	1	塗装品,上枠付(左側が出隅)
㉓	MK□-950D2	枠 ≡≡≡	950x50x60		塗装品,上枠付(両側が出隅)
㉔	MK□-900IDR	枠 ≡≡≡	900x50x60	1	塗装品,上枠付(左側が出隅右側入隅)
㉕	MK□-900IDL	枠 ≡≡≡	900x50x60	1	塗装品,上枠付(右側が出隅左側入隅)
㉖	MKH□-850	枠 ≡≡≡	850x50x60		塗装品,上枠付引き出し用
㉗	MKH□-850I2	枠 ≡≡≡	850x50x60		塗装品,上枠付(両側が入り隅)
㉘	MKH□-875R	枠 ≡≡≡	875x50x60	1	塗装品,上枠付引出用(右側が壁面)
㉙	MKH□-875L	枠 ≡≡≡	875x50x60		塗装品,上枠付引出用(左側が壁面)
㉚	MKH□-900R	枠 ≡≡≡	900x50x60		塗装品,上枠付引出用(右側が出隅)
㉛	MKH□-900L	枠 ≡≡≡	900x50x60		塗装品,上枠付引出用(左側が出隅)
㉜	MKH□-950D2	枠 ≡≡≡	950x50x60	2	塗装品,上枠付引出用(両側が出隅)
㉝	NB-1	中蓋 ≡≡≡	845x845x15	5	
㉞	TM□-1	畳見切 □	850x25x30	3	両面テープ付
㉟	TM□-2	畳見切 □	875x25x30		両面テープ付
㊱	HT-□	引き出しセット		3	塗装品(前板サイズ:840x275x20)
㊲	MK□-925L	枠 ≡≡≡	925x50x60		塗装品,上枠付(左側が出隅)
㊳	MKH□-925R	枠 ≡≡≡	925x50x60		塗装品,上枠付引出用(右側が出隅)

楽座施工手順書

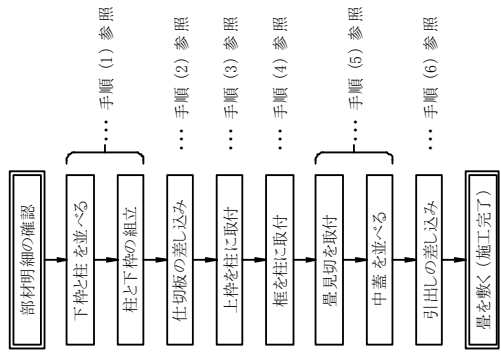
①. 部材の確認

- ・梱包された部材の明細を『楽座部材リスト』によりモレがないことを確認してください。
- ②. 塗装部材の使い分けについて
 - ・同じ種類の部材に塗装品と無塗装品があります。 ※ 柱、下枠、仕切板が該当します。



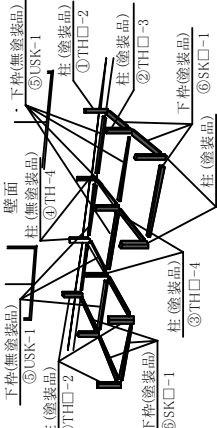
③. 組立の手順

・以下の手順で、右の説明を参考に組立を行います。



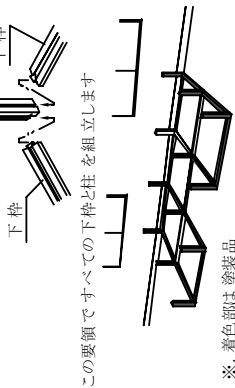
手順 (1). 下枠、柱の仮並べと柱と下枠の組立

- ・別紙の『楽座部材リスト』を参照して、壁に面する部分より下枠(⑤USK-1、⑥SK□-1)と柱を仮並べしてください。



- ・表側に見える部分は塗装品を使用します (着色部分)
- ・柱の凹溝に下枠の凸ボスを差し込みます

※ 差し込みが固い場合、ゴムハンマーを使います



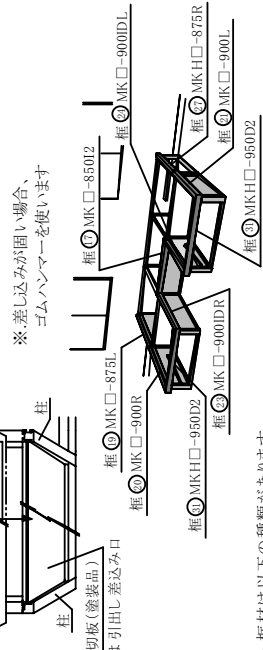
※ 着色部は塗装品

手順 (4). 框の取付

- ・引出し差し込み口と塗装品の仕切板(⑧NJ□-1、⑨NJ□-2R、2L)の上面に框の凸ボスを柱の凹溝に差し込みます。

※ 取付位置は『楽座部材リスト』を参照してください。

※ 差し込みが固い場合、ゴムハンマーを使います

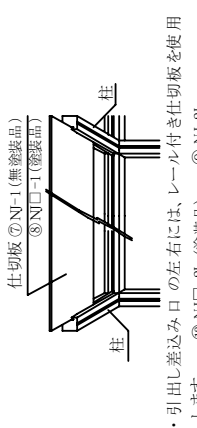


- ・框材は以下の種類があります。 『楽座部材リスト』で確認してください。 ※ □には 塗装品記号が入ります

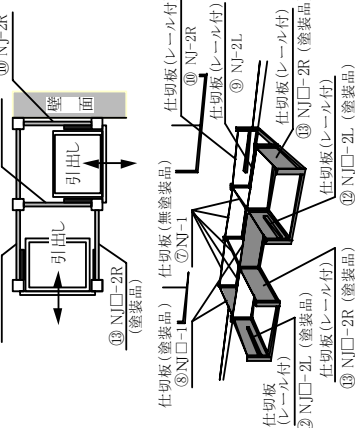
	仕切板上に使用
a. 片側コーナー用 :	④ MK□-900R (右側コーナー) ⑤ MKH□-900R (左側コーナー)
b. 両側コーナー用 :	⑥ MK□-900L (左側コーナー) ⑦ MKH□-900L (右側コーナー)
c. 片側入隅用 :	⑧ MK□-950D2 ⑨ MKH□-950D2
d. 両側入隅用 :	⑩ MK□-850R (右側が入隅) ⑪ MK□-850I ⑫ MK□-850L (左側が入隅) ⑬ MK□-850D (両側が入隅)
e. 片側入隅用 :	⑭ MK□-900DR (右:入隅, 左:コーナー) ⑮ MK□-900DL (左:入隅, 右:コーナー)
f. 片側壁用 :	⑯ MK□-875R (右側が壁面) ⑰ MK□-875L (左側が壁面)
g. 両側壁用 :	⑱ MK□-850 ⑲ MKH□-850

手順 (2). 仕切板の差し込み

- ・隠れる部分は無塗装品の仕切板(⑦NJ-1)、表側に見える部分には塗装品の仕切板(⑧NJ□-1)を柱の凹溝に上から差し込みます。 ※ 引出しの差し込み口には不要です



- ・引出し差し込み口の左右には、レール付き仕切板を使用します。 ⑫ NJ□-2L (塗装品) ⑬ NJ□-2R (塗装品)



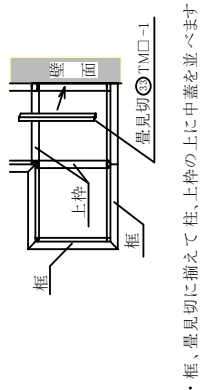
手順 (5). 畳見切の貼付

- ・中蓋を並べる

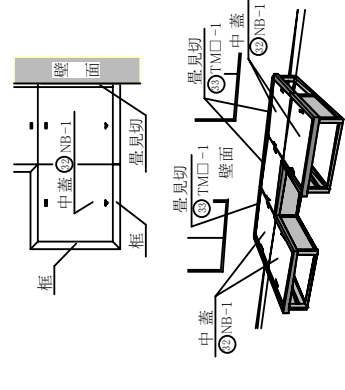
・壁際には畳見切を取付します

・畳見切は 両面テープをはがして貼付してください

・取付に際しては 壁際に合せて貼付します

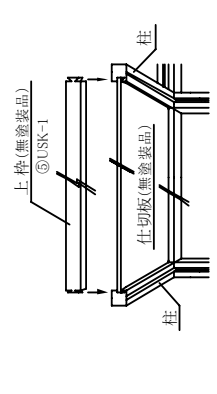


- ・框、畳見切に揃えて 柱、上枠の上に中蓋を並べます



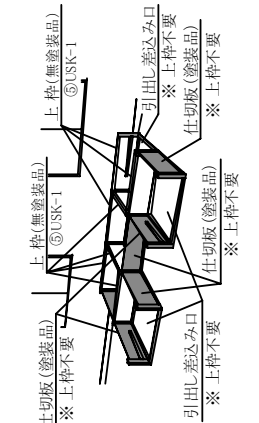
手順 (3). 上枠の取付

- ・無塗装品の仕切板(⑦NJ-1)を差し込みした上に、上枠(上下枠⑤USK-1)の凸ボスを 柱の凹溝に差し込みます。



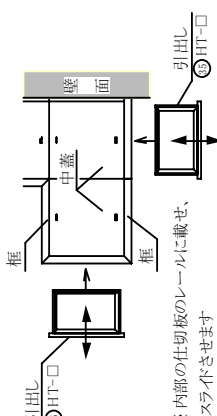
※ 差し込みが固い場合、ゴムハンマーを使います。

- ・塗装品の仕切板の上には 框材を取付しますので、上枠の取付は不要です。



手順 (6). 引出しの差し込み

- ・引出し差し込み口に 引出しを 差し込みます。



※ 内部の仕切板のレールに載せ、スライドさせます

- ・中蓋の上に 畳を敷きます (これで完成です)

